

令和8年度 第1回学校運営協議会議事録

さいたま市立徳力小学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和8年5月11日(月) 10:00～11:50
[場所] 会議室

- 2 出席 会長 由利 暁恭 (徳力小学校PTA会長)
副会長 根本 淑枝 (絆教室実行委員、学習ボランティア)
委員 新井 立子 (前交通指導員)
菊川 千紗 (絆教室副実行委員長、読み聞かせボランティア代表)
三枝 俊廣 (防犯ボランティア会長)
山本 光亮 (児童養護施設いわつき園長)
新井 尚子 (校庭開放委員会代表)
高波 國夫 (慈恩寺中学校長)
岡野 正男 (防犯ボランティア)
白石 徳一郎 (徳力小学校 校長)
三村 美延 (徳力小学校 教頭)
山崎 あや子 (徳力小学校学校地域連携コーディネーター)
欠席 委員 新井 香苗 (徳力小学校PTA幹事)
川上 健太 (徳力小学校 教務主任)

3 次第

- (1) 校長あいさつ
(2) 委嘱状等交付
(3) 自己紹介
(4) 委員長、副委員長の選出
(5) 委員長あいさつ
 < 授業参観 >
(6) 学校経営方針の説明
(7) その他

4 議事概要

- (1) 委員長、副委員長の選出
 委員長→由利 暁恭 氏
 副委員長→根本 淑枝 氏
- (2) 学校経営方針の説明と承認
 「徳力小学校 学校評価システムシート」にて、校長より説明した。

令和8年度学校経営方針は承認された。

(3) 熟 議

子どもの学力向上と教職員の働き方改革について

参照資料「学校と教師の業務の3分類」

○ 「カリキュラム・デザインマップ」の活用について

- ・ 「カリキュラム・デザインマップ」はどう活用するのか。定期的に見直さないと、作るだけが目的のものになってしまう。
- ・ デザインマップの目的は、一つには、複数の教科等の実施時期を俯瞰して配置することで、それらの学習を児童が効果的に効率よく学べるようにすることだ。もう一つは、その効率よく学べるようにしたことで「余白の時間」を生み出すことにある。生み出した時間は学習に使ったり、子どもと関わる時間や授業改善、教材研究等に充てたりして、子どもの学校生活を充実させることにつなげていく。
- ・ デザイン・マップは教員が使用するのだと分かった。子どもも使用できるとよいのではないか。
- ・ 他校では子どもが利用している事例もある。本校でも子どもも意識して活用していけるよう取り組んでいきたい。

○ 学力向上に係る具体策について

- ・ 令和7年度第3回の熟議の中で、夏季休業中の児童の補習や学習ボランティアの拡大について話題があったが、その後の学校の取組を知りたい。
- ・ 近隣校の情報を集めた。東岩槻小学校は社会福祉協議会が運営し、慈恩寺小学校では中学生がボランティアとして関わっていることが分かった。開催には、運営を支える体制づくりと子どもに関わるボランティアの招集が必要だ。
- ・ 学生の学習ボランティアは、現行の学習内容を理解しているので、子どもにとって効果的だろう。
- ・ 運営面の手伝いは「地域」も担えるが、近隣の中学校や大学へのボランティア募集の依頼は「徳力小学校」が行うのがよい。
- ・ 現在、徳力小学校で行っている「ボランティアの募集」の仕方は、①メールを使って保護者に呼び掛ける ②学校だよりで保護者や地域に呼びかける ③地域のリーダーを通して、その知人に直接呼び掛けてもらう ということを行っている。
- ・ 地域では、回覧物を読まずに回覧されてしまうことが課題になっている。
- ・ 地域には、徳力小学校の取組を積極的にアピールしていくとよい。

上記意見を受け、学校は、令和8年度の夏季休業中における「夏の寺子屋（仮称）」の実施について計画し、運営支援について関係各所に依頼を試みることにする。

5 今後の開催予定

第2回 令和8年12月7日(月) 10:00から

第3回 令和9年 2月8日(月) 10:00から

以上